

町報特報

国民健康保険がはじまります

◎ 国民健康保険とは何か？

私達の生活をおびやかす一番大きな原因は病気である。従って、お互いに健康であることが幸福であることはわかりきったことですが、私達長い一生には「病気」や「けが」をすることがしばしばあります。こんなとき「官公署」「会社」「組合」「工場」などで働いている人々やその家族は、治療費の全額又は半額を支払ってくれる「健康保険」があつて安心して治療できますが、保険をもっていない大部分の人々は早速医療費のくめんに頭を痛め、ときには牛馬や田畑まで手離さねばならない場合も意外に多いのです。

そこで病気という共通の災厄にそなえて、健康保険をもっていない人々のために「国民健康保険」があるのです。つまり、国民健康保険とは健康保険をもっていない国民すべてのための健康を守る相扶保険です。

◎ 国民健康保険の仕事は誰がするか？

この保険は、「以前は国民健康保険組合」でやっていましたが、健康保険制度を育成強化するため数回にわたって財政的な措置をこうじ、これを市町村がするように法律で改められましたので、私達の場合は大根占町がこれを行うことになりました。

◎ 国民健康保険にはいるのはどんな人たちか？

大根占町に住んでいる人は、全部はいらなければならない義務があります。

しかし次の人々は除かれますが、これらの家族のうちでも保険にはいつていない人があるときは、その人は国民健康保険にはいられなければならない。

- 健康保険のある人とその扶養家族
- 船員保険のある人とその扶養家族
- 共済組合による保険のある人とその扶養家族
- 日雇労働者健康保険のある人とその扶養家族
- 特別国民健康保険のある人とその扶養家族
- 生活保護法による生活扶助を受けている人たち
- その他条例で定められた人

◎ 国民健康保険にはどんな給付があるか？

- 療養の給付……「病気」や「けが」をした場合に役場からお渡しした「保険証」をもつて医者に行けば、治療費の半額を支払うだけで残り半額は町が支払うことになっています。
旅行などのために町外の医者にかかったときは、その医者から、医者にかかった内容の証明書と、支払った領収書をもつて帰り、役場に出せば、その費用の基準の半額を現金で払戻すことになっています。
- 助産の給付……保険にはいった人が、お産したときは、町で決められた一定のお産の費用が町から支給されます。
- 葬祭の給付……保険にはいった人が死亡したときは町で決められた一定の葬祭の費用が町から支給されます。

◎ 国民健康保険はどんな費用でなされるか？

被保険者の一年間の総医療費がもとになり、町民税、固定資産税から算出されるものと、世帯人員、世帯平等の割によるものとの四つが組合わされて算出された保険税を世帯主が町へ納めていただく他、国の補助と町の費用によってなされます。

「以前あつた国民健康保険組合は文字通り組合組織であつて、国の補助金も殆んどなく、組合員の保険料だけで経費を賄っていたわけですが、終戦前後の異常な社会経済状態に禍いされて、医薬品の品不足や高価のために治療も思うようにできず、一方、保険料は滞納になつて赤字が増えるなど悪条件が重なつてついに解散したのです。しかし、これから行う国民健康保険は、いろいろの条件がはるかに有利になつてきておりますので心配ありません。」

◎ むすび

以上が国民健康保険制度のあらましですが、何といつてもこの仕事は保険者（大根占町）と療養担当者（医者）と被保険者（保険加入者）の三者が、国民健康保険のことをよく理解し、力を合わせてもりたてて行つて、始めて町民全員が健康で明るい生活を営むことができるようになるのです。

◎ 基礎調査についてお願い

大根占町でもこのほど、国民健康保険を始めるための準備にとりかかりましたが、その基礎調査のため、調査員が、皆さんの家庭に伺うようになりますので、何とぞ御協力をお願い致します。なお、国民健康保険のことは役場の民生課で取扱つています。